

※ 本記事はブログ記事として提供しています。その範疇のものとして捉えて下さい。

## 「キャリア教育」は相性抜群のトッピング!!

### -学習指導要領とキャリア教育の「関係」-

¶ アナタは「丸亀製麺」には行ったことがありますか？春先の期間限定で出る「あさりうどん」（3月10日くらいに毎年メニューに追加される。対抗して「はなまるうどん」は「はまぐりうどん」を出してくる）がめっちゃ美味しいのですが、それはいいとして、右の図1は丸亀製麺の「素うどん」です。当たり前ですが、丸亀製麺のメニューのメインは「うどん」であって、サイドメニューとして「天ぷら」があり、「ところ」があり、「薬味」があります。この主役と名脇役の「関係」が「学習指導要領（主役）」と「キャリア教育（名脇役）」にも言える…というところからキャリア教育の理解を始めています。

¶ 「キャリア教育」というと、平成23年1月の中教審答申『今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について』や『キャリア・プランニングマトリクス』の4領域（人間関係形成能力・意思決定能力・将来設計能力・情報活用能力）が有名ですが（コレが出てくるだけでため息が出ますよね…www）、実はこれらは学習指導要領の内には記載されていません。つまり、学習指導要領とキャリア教育は同居・共生してないんです。赤の他人同士なの。

¶ どういうことかというと、「学習指導要領」は言うまでもなく、教育を行う上での木で例える「根幹」の部分。先の話で例えれば「うどん」そのものです。一方で、「キャリア教育」は」というと、枝葉の部分であり、「うどんに練り込まれているもの」ではなく「主要なトッピング」扱いのものです。以上が「学習指導要領」と「キャリア教育」の「関係」についてです。

### ☞NEXT -キャリア教育の「役割」について-

¶ 次はキャリア教育の「役割」についてです。右の図2は「キャリアスイッチ」と呼ばれるもので、これがキャリア教育の役割を理解するのに一番わかり易いのですが、キャリア教育は学習指導要領に沿って立てられた目標を、別の観点から見られるようにする、カメラアプリに付いている「画像フィルタ機能」のようなものです(図3)。学習指導要領に沿った目標を「キャリアスイッチ(図2)」を押してフィルタをかけると、「盛られた加工画像（目標）」が出てくる…そんな感じ。じゃあ、実際「盛られた加工目標が出てくる」とはどんな感じなのよ??? (☞ウラヘ)



図1 「関係」としては「うどん」と「トッピング」に似ている



図2 「キャリアスイッチ」



図3 「役割」としては「画像フィルタ」機能に似ている

# 『キャリアスイッチ』を押してみよう!!

『さて、次に具体的に例を挙げて「キャリアスイッチ」を押すと目標がどのように変化をするか?を見ていきます。例に挙げる単元は、

## 生活単元学習「小学部の玄関にベンチをつくろう！」

とし、対象学年を小学部6年生にしてみます。

### ■ 単元設定の理由（仮定）

A君（仮想）が「帰りのデイさんを待っているベンチに僕も座りたいんだよ！」と怒り出したところから単元は始まります。「ベンチが足りないから下級生に譲らなきゃいけないよ！」「A君は大きいからA君が座るとみんな座れなくなっちゃうよ！」とみんなはA君を諭したが、A君はこう続けました。

「だって、座れてない下級生だって居るよ！」

「僕が大きいんじゃない。ベンチが小さいんだよ！！」

その時にCさんがこう言いました。

「だったら6年生でベンチをもっと作ればいいんじゃない？」

こういった子どもたちの願いから、本単元は始まりました。

### ■ 単元目標

○ 玄関でデイ待ちをする為のベンチ3台を力を合わせて作り上げる。…（＊1：「元画像」に当たるもの）

『では、早速（＊1）の普通の単元目標に「キャリアスイッチ」を押して、目標を盛ってみることにします。

#### ①「コミュニケーションスイッチ」を押してみると…

・下級生から丁寧にヒアリングをしながら、下級生にも使いやすいベンチを作ることができる。（加工されて出た下位目標①）

#### ②「自己決定スイッチ」を押してみると…

・ベンチ作りの役割などをみんなで相談・分担し、責任をもって活動することができる。（加工されて出た下位目標②）

#### ③「計画スイッチ」を押してみると…

・3台の完成目標や、1ヶ月後に下級生を招待して行う「設置完了式」を目指して、タイムスケジュールを自分たちでも確認しながら活動することができる。（加工されて出た下位目標③）

#### ④「調べスイッチ」を押してみると…

・「You Tube チャンネル：誰でもできる DIY」を活用することができる。（加工されて出た下位目標④）



（再掲載）図2

『この様に「キャリアスイッチ（図2）」を押すと、上位の単元目標自体は何も変わらないけれど、「キャリア教育のフィルタ」がかかった『下位の加工目標』が、大元の単元目標の下に「盛られて」出てきます。（＊キャリアの視点を取り入れるからといって、大元の単元目標が変わるわけではないという理解が超重要!!）つまり、通常の目標にキャリアの観点からの目標を盛って「追加」するのがキャリア教育の「役割」なのです。』

『さてキャリア教育の「役割」は分かったけれど、でもでもここで素朴な疑問。「せっかく1つにまとまっている単元目標を、なんでわざわざ違った観点で見て、煩雑にもなり得る下位目標を追加しなきゃいけないのか？」。フィルタかけるのは面倒ですよね。指導案を書く際のやること増えますよね。…まあ伏線の通り、天ぷらや薬味が有ると、うどんがさらに美味しいくなるという「関係性」だからなんだけど…。えっ、「素うどん」でも「そこそこ美味しい」って？すごく良い観点ですねー。そうなんです。素うどん（学習指導要領）だけでも「そこそこ美味しい」んですよ。…次号へ続く！』